

地元区議の情報紙 27年11月下旬号 No.98号

とりがい秀夫の地域ニュース

南千住8-3-3-201 電話090(1201)1297

提案・意見は—携帯電話のショートメールを下さい—



区内共通お買物券売出し 11月29日 自民党提案 今回は荒川区の独自事業

荒川区商店街連合会は10回目となる「区内共通お買物券」を販売することになりました。それに合わせて、べるほうと汐入商店街振興組合も下記の要領で販売します。販売時間は10時から、場所は松本ソバ屋と田村豆腐屋の間です。汐入分は300セット【300万円分】で売切れ次第で終了。お買物券はステッカーのあるお店で使えます。買物券は1冊1万円です。500円綴りの券が22枚として渡されます。今回も一人5冊、5万円まで購入できます。1万円購入すると1,000円分のお得となります。今回で10回目となりますが、過去9回とも人気があり汐入商店街も半日で売り切れています。



前回は政府の進める政策として全国で販売されましたが、今回は荒川区に対して自民党区議団が提案し荒川区の独自施策として行うものです。

荒川区議会 11月会議開催 15日間

荒川区議会は5月26日～来年の4月28日迄の339日間に渡り通年議会を開催しています。今回は11月27日～12月11日までの15日間で行い、各党派議員の区長への質問等は27・30日の10時から始まります。荒川区議会は年間を通して議会活動ができるように23区で最初に通年議会を採用した区です。



汐入公園多目的広場改修工事始まる 12月から3月初旬迄使用禁止

一昨年秋ごろから岐山都議に要望していた、汐入公園多目的広場【5,400㎡】の全面改修工事がこの度実現の運びとなりました。このグラウンドは開設を優先したのか、当初から外野部分に草が生えていたり、凹凸の多い使い勝手の悪い砂質で春先には砂埃が舞い、目の前の住宅のベランダの窓ガラスが開けられない等住民からも苦情の多いグラウンドです。



来春オープン 2800万円超の工事費

サッカーコート【42m×62m】日除けテント確保する

岐山都議に要望・実現の運び

今回の工事にあたり、工夫したのはピッチャーマウンドを確保しつつサッカーコートの位置をずらし【42m×62m】のコートを確保、野球もサッカーも本格的な競技ができるようにした事と日除けテントを設置した事、又、近隣住民の粉塵対策のために舗装材料に工夫を凝らしました。汐入地域は他の地域より居住環境・防災環境は優れていますが、まだまだ区議会や都議会に直接要望するところがあるように思えます。



岐山知尚都議

認知症の予防と食生活講演会

12月7日【月】AM10時~11時30分 区役所3F会議室 無料
電話で申し込み順50名くらい

3802-3111内線2666 介護予防事業係り

南千住東口→北千住駅行き「さくら」

土曜休日 17 便・平日 29 便運行 10 月から

読者からの要望実現する

昨年から本紙読者からの要望がありました南千住東口→北千住行きの「さくら」バスの休日運行がこの度実現の運びとなりました。平日は 29 便、休日は 17 便で 18 分の運行となります。尚、バスによっては足立区の柳原病院を経由しての運行となりますので 23 分くらいになります。休日の南千住駅始発は 7



時 30 分。最終は 18 時 10 分です。バスを利用する方はそれぞれの停留場で確認してください。いずれにしても地域での交通の便が増えてくるという事は高齢者の方の外出の機会が増えることになり医療・介護の面ではありがたい事です。

「汐入さくら」利用者が増加。中型化の影響か

「汐入さくら」の乗車人員は昨年 1,200 人でしたが、今年に入り一か月平均で 1,500 人と 300 人ほど多くなりました。車体を中型にした事が乗りやすさに影響を与えたのでしょうか。

全国の議会から視察増加

議会で活動する者にとって自分達の自治体の政策を研究する上で、他の自治体や議会の実態を把握・調査することは非常に有意義なことです。従前は荒川区に調査研究のために訪れる議会は僅かでありましたが、ここ数年は視察回数が多くみられるようになって来ました。平成 26 年度は 65 件。今年は 5 月から 11 月までに既に 58 件を数えるようになりました。ちなみに視察項目の上位は①荒川区民総幸福度②子供の貧困対策③タブレットを活用した学校教育④学校図書館教育⑤非常勤職員制度等が対象となっています。私達も荒川区を今より暮らしやすくするために地方での視察は重要な役割を果たすものと考えています。

新企画・地域の歴史【人物編】 ⑥

全国の子供たちを熱狂させた

空想画家「小松崎茂」生誕 100 年

南千住に生まれ汐入周辺をこよなく愛す

郷土、南千住（尾花うなぎ屋近く）に戦前・戦後の日本中の子供たちに夢を与え、晩年まで汐入や南千住地域をこよなく愛した空想画家といわれる画家が活躍した事は誇りに思います。幼いころから絵を描くことが好きだった小松崎は、挿絵画家として昭和 13 年（1938）にデビュー、戦時中、雑誌『機械化』などに未来の兵器や戦闘機などを描き注目されます。戦後は、絵物語作家として一世を風靡し、少年雑誌の口絵、プラモデルの箱絵、メ

ダルの原画なども手がけ、その幅広い画業と、特に近未来を具体的に见せるその絵は、当時の少年たちにとっての夢であり、未来への憧れでした。また、戦災



で故郷を離れた小松崎は、生まれ故郷への想いを終生抱き続け、汐入の原っぱ、ガスタンク、生まれ育った長屋などを描きました。



「小松崎茂」展 IN 南千住図書館

（ふるさと文化館）

日時 12月6日迄（月曜休館）AM9時30分～PM5時

入場料 100円【65歳以上・障害者無料】

※ 原画の素晴らしさを味わって下さい